

プロロジス、中国・天津の施設 17,280 m²を サムスンの 3PL 業者と賃貸契約



物流施設専門の不動産開発会社プロロジス(世界本社: 米国コロラド州デンバー NYSE: PLD)は 2008 年 3 月 26 日、中国においてサムスンの 3PL 業者であるジンジ・トータル・ロジスティクス社 (Jinji Total Logistics)と北京近郊、天津に開発中の施設 17,280 平方メートルについて契約を締結したと発表しました。

中国・天津は中国で 6 番目に大きな、生産拠点として急成長を遂げている都市ですが、その天津にある「プロロジスパーク西青」に開発中の 40,600 平方メートルの施設の 1 ヶ所にジンジ社が入居予定です。サムスン社はすでに海外での最大の生産拠点の 1 ヶ所を「プロロジスパーク西青」から 2 キロメートル圏内の場所に整備しており、ジンジ社は「プロロジスパーク西青」を、天津南部への投資を拡大しているサムスン社の国内流通拠点として利用する予定です。なお、今回契約した「プロロジスパーク西青」の施設は 2009 年初頭に完成する予定です。

サムスン社は中国と米国においてプロロジスの施設計 11 万 1,500 平方メートル以上に入居中です。

天津は中国北部において主要な経済および産業の中心地であり、中国で 5 番目の荷扱量を誇る天津コンテナ港から近く、また居住人口も多いため、大手物流会社などの物流施設の需要が多い都市です。高品質な物流施設の需要増と、「プロロジスパーク西青」の戦略的な立地およびプロロジスの先進的な物流施設開発の実績から、プロロジスではこの地域での物流施設のさらなる需要があると見ています。

「プロロジスパーク西青」はプロロジスにとって天津で 3 番目の物流施設となります。「プロロジスパーク西青」は 5 つの主要な高速道路から 15 キロメートル弱、天津国際空港にも近く、また 2006 年に 595 万 TEU の実績のある天津コンテナ港から 30 キロメートルと、交通の要所に位置しています。「プロロジスパーク西青」は完成すると 2 棟、計 81,200 平方メートルから成る施設となります。

プロロジスは中国において物流施設の開発会社として業界トップの地位を築いており、2007 年末現在で 105 万平方メートルの施設を運営中、および 102 万 2,000 平方メートルの施設を開発中です。なお、中国においてプロロジスの物流施設を利用する主な企業は adidas 社、DHL 社、L'Oreal 社、Menlo Worldwide 社、Nokia 社、NYK 社、Samsung 社、UPS 社、日本通運(株)、(株)日立物流、(株)近鉄エクスプレス、(株)キューソー流通システム(順不同)などがあります。